

日本ウォータージェット学会
「次世代ウォータージェットシステムに関する調査・研究委員会」
「ウォータージェット技術の原子力分野への利用に関する調査・研究委員会」
合同見学会・委員会開催のご案内

2015年5月25日

日本ウォータージェット学会「次世代ウォータージェットシステムに関する調査・研究委員会」（祖山均委員長）と「ウォータージェット技術の原子力分野への利用に関する調査・研究委員会」では、大阪ガス株式会社エンジニアリング部のご協力をいただき、合同見学会・委員会を下記のとおり開催致します。多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

参加希望の方は**6月15日(月)12:00**までに、[1]参加者氏名、[2]所属、[3]役職名、[4]連絡先（E-mail 及び電話番号など）を清水誠二宛ご連絡下さい。

日本ウォータージェット学会
ウォータージェット技術の原子力分野への利用に関する調査・研究委員会委員長
清水 誠二
963-8844 福島県郡山市田村町徳定字中河原1
日本大学工学部機械工学科
電話：024-956-8762
E-mail: sshimizu@mech.ce.nihon-u.ac.jp

記

[1] 見学会・委員会の開催日時および場所

日時：平成27年6月25日(木) 13:30～16:30

場所：大阪ガス株式会社・導管技術センター

〒554-0051 大阪市此花区西島5丁目11番61号

当日連絡先：日本大学工学部 清水誠二 携帯電話：090-2869-9605

現地連絡先：大阪ガス株式会社 エンジニアリング部 プロセス技術チーム 清水翼

電話：06-6465-2010

[2] 集合場所、集合時刻

集合場所：JR西日本環状線「西九条駅」改札口付近

集合時刻：6月25日(木)、13時30分

・タクシーに分乗して大阪ガス株式会社・導管技術センターへ向かいます。

[3] 見学会・委員会のスケジュール

14:00～14:30 大阪ガスの環境技術への取り組み例

14:30～15:00 大阪水素ステーション見学

日本初の水素ステーションとして建設され、現在まで燃料電池自動車への水素燃料の充填実証試験を行ってきた。大阪水素ステーションは、敷地内で水素を製造するオンサイト方式を採用しており、大阪ガスが独自に開発した水素製造装置 HYSERVE を採用している。この水素ステーションの運転で得られたノウハウを利用し、今年4月より茨木市にて商用水素ステーションを建設した。

<http://hysut.or.jp/business/2011/station/oosaka.html>

https://www.osakagas.co.jp/company/efforts/rd/technical/1191096_3909.html

15:00～15:30 廃水処理プロセス実験設備等 見学

大阪ガス独自の触媒により廃水中の有機物を分解し、燃料ガスに転換できる廃水処理プロセスを開発した。従来安価な生物処理が適用できなかった工場廃水に対し本プロセスを適用することで、処理コスト・CO₂排出量の大幅削減が実現できる。実工場にてパイロットプラントによる実証試験を完了、その後もプラントは運転を継続し18,000時間以上の安定な処理性能を発揮している。

https://www.osakagas.co.jp/company/efforts/rd/technical/1191174_3909.html

15:30～15:45 見学設備等に関する質疑応答

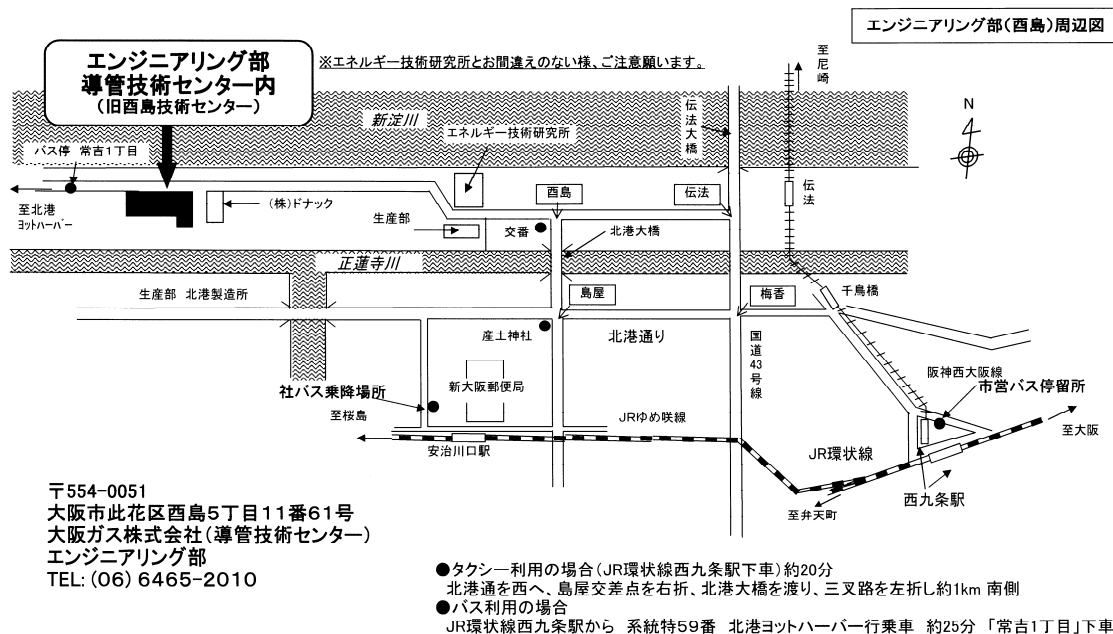
15:45～16:30 話題提供講演

「キャビテーションピーニングによる水素脆化防止」東北大学 祖山均教授

16:30 現地解散

大阪ガス株式会社 エンジニアリング部 導管技術センター案内図

・集合場所はJR環状線、西九条駅、改札口付近ですので、ご注意ください。



以上